

# 菊の会だより

## “心を踊る”

菊の会は古典舞踊の研鑽に励み  
明日の新しい舞台芸術の創造に情熱を燃やしています

[発行]  
舞踊集団 菊の会  
代表 畑 道代  
〒161 東京都新宿区西落合2-21-23  
電話 03-5983-6001(代)

皆様のお蔭をもちまして今年には菊の会創立二十五周年を迎える事が出来ました。厚く御礼申し上げます。誠に有り難うございます。二十五年間よく続いたと感謝の思いで一杯でございます。創立当初は、毎日稽古場が賑々と変わり、お弟子さん達が大きな荷物を持って通って来て下さった事等、いい思い出です。今年、京都八瀬に研修所が完成しますが、東京新宿西落合の菊の会会館とともに舞踊を志す方達のための場所として、また、多くの方々に日本舞踊の愛好家になって頂く場所として大いに活用出来たらと願っています。今後とも、何卒御指導、御鞭撻を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

## 新年明けまして お目出とうございませす

平成九年 元旦

舞踊集団 菊の会  
代表 畑 道代



舞踊劇「ほん大通り」第六景やまとの花



舞踊劇「ほん大通り」第十五景夢を馳せる

# 心の交流広げる友の会旅行会とアトリエ公演



## 昨年の悼美を飾る 菊の会ディナーショー

世界の玄関口として知られる成田市のホリデイ・イン東武成田ホテル主催により、昨年十二月十五日に菊の会公演のディナーショーが行われ、昼の部、夜の部ともに大盛況の内に終了した。同ホテルでは、地域に文化と芸術の薫りをとの考えから、今までの企画を一新して初めての試みとして、菊の会ディナーショーが実現した。この事に応えるべく菊の会としても全力で取り組み、準備にあたった。当日は、菊の会からも友の会のメンバーの方々が恒例の旅行会として多数参加して頂き楽しい一夜を満喫した。畑代表は、「こうして伝統芸能をとり上げて下さったホリデイ・イン東武成田ホテルに心から感謝しています。こうした機会を通して日本の文化を一人でも多くの方々に見て頂き、そして楽しんで頂ける様、これからも頑張ります」と感想を述べている。



## 京都八瀬の菊の会研修所(仮称)が 二十五周年を機に完成予定!

待望の京都八瀬の研修所がいよいよ今年オープンする。場所は京都洛北の八瀬遊園の駅から徒歩六分の所で比叡山と高野川を目の前に四季の風情が美しい。春は桜と柳、夏は涼しく、蛍もとびかう川辺、秋は紅葉の美しさが格別で、冬はひとさわ寒さが厳しい所だが、雪見障子をあけて見る雪景色も最高の場所。この場所のでじつくりと舞踊の稽古に取り組む研修所となる。尚、建物の設計は広瀬英世先生により、安井全工務店が全力で建築され、庭師は、川崎幸次郎先生が担当されている。二月末より営業開始となるが、能舞台を含め今年の秋には総て完成する予定。

## 心の輪を広げる アトリエ公演に歓びの声!

年の終わりを飾るアトリエ公演が昨年十二月二十一日から二十三日まで行われた。演目は、「畑道代構成・振付」「古都歳時記」と常磐津「釣女」、菊の会演歌選集「四季に舞う」。狭い会場ながら毎回の公演を楽しみにして来て下さるお客様も増えて、今まで続けて来る事が出来た。「古都歳時記」は早春を舞妓三人による踊り、春は、吉野大夫の景、夏は、男性二人による京伏見から淀川を下る舟の風物詩の踊り、秋は、芸妓二人の踊り、冬は雪の石橋を、赤白の獅子による踊り、春再びは、フィナーレの総踊り。



菊の会演歌選集「四季に舞う」民謡御祝

「釣女」はおなじみのユーモアあふれる狂言舞踊。「四季に舞う」は津軽海峡冬景色、望郷じよんから、無言坂、民謡御祝、風の盆恋唄、天城越え、おら東京さ行くだ。

## 上半期の公演・ 行事のお知らせ

- 新春おどり初め  
1月19日(日) 午後12時30分開演  
会場/菊の会会館
- 担当講師、男性舞踊手、若獅子グループ、女性舞踊手、天舞グループ、ひまわりグループの代表メンバーが出演いたします。
- アトリエ公演「日本のおどり」  
1月24日(金)・25日(土)  
2月1日(土)  
午後12時・3時30分・7時開演  
2月2日(日)  
午後1時・4時30分開演  
会場/菊の会会館  
入場料/3,000円
- 民音文化交流イベント公演記念  
菊の会「日本の心を踊る」  
2月19日(水) 中野サンプラザ  
午後2時・6時30分  
22日(土) 飯田文化会館  
午後6時30分開演(予定)  
23日(日) 松本文化会館  
午後2時開演(予定)  
3月22日(土) 山梨県(予定)  
3月20日(金) グリーンホール相模大野  
午後2時・6時30分開演(予定)  
28日(土) 川崎市教育文化会館  
午後2時・6時30分開演(予定)

## 友の会会員募集

伝統文化を大切に、明日の新しい舞台芸術の創造に情熱を燃やす菊の会の幅広い活動を支援するの友の会です。  
舞踊家の育成、作品創り、そして

諸外国との文化交流を目指す菊の会を育てるために皆さんの御支援をお願いします。  
一般会員、年一〇二万円、法人会員、年一〇五万円、詳しくは友の会事務局へ。  
TEL(03)5983-16001

## 成長と発展を期待して

日本芸術文化振興会理事

藤波隆之



また、フィナーレの群舞から、倦まざる日頃のきびしい稽古の集積が伝わってきて、そのダイナミックな力感に圧倒されました。

三隅先生が、さらに現代に訴えかけてくる普遍性を盛り込んで改作された「ほん大通り」を、今日の舞踊劇として上演されたスタッフ、キャストの皆さんの情熱とご努力は、並大抵のことではなかったらうと推察しております。

国内のみならず、イギリス、フランス、インド、シンガポール、マレーシア、オーストラリアなど、ひろく国際的にも進出して日本の舞踊の大衆化をすすめられ、また学生を対象とした学校公演も催しておられる真摯なお仕事ぶりに深く敬意を表します。

二十五周年を契機に「菊の会」の皆さんが、新しく落成したスタジオを拠点に、次なる四半世紀へ向けて、大きく成長し発展されることを心から期待いたしております。

「菊の会」の創立二十五周年、まことにめでとうございます。 「菊の会」は、わが国の古典舞踊の継承と発展を基本におき、各地のすぐれた民俗芸能を学びながら、そのうえに創作舞踊劇の上演を目標に掲げて創立されました。この方針をたゆみながら、昨年は三隅治雄先生の舞踊劇の大作「ほん大通り」で、二十五周年記念公演を成功のうちに上演されました。幕末から明治維新を迎える激動の時代を背景に、不平等条約による内外の圧力に屈することなくたたかっていた旧浜っ子の連帯と健気な生き方に、多くの観客とともに私もおつよい感動を受けました。



# 創立25周年 錬磨で感動の舞台を！心の舞を目指して新しい出発を！



## 創立二十五周年記念舞踊劇「にほん大通り」を公演！



### 菊の会に期待

早稲田大学名誉教授 本田安次

菊の会もここに結成二十五周年を迎えられるという。お目出度う。会主の畑道代さんは、それが作品の中によくあらわれているのであるが、大変な勉強家でいらつし

が、もって生まれた豊かな資質と個性の中に融合し、幅広い、独自の美しい踊を生み出されている。また、菊の会に集う同志たちも、心豊かな人たちである。作品に対する深い理解、そして消極的ではない無心の融和、協力。美事である。



舞踊劇「にほん大通り」第十一景星空の再会

### 「にほん大通り」を観て

萩原雪夫

日本舞踊の継承とスケールの大きな舞踊劇の創作をめざし独自の活動を続けている「菊の会」は、代表の畑道代さんの並々ならぬ努力によって創立二十五周年を迎えたことはまことにめでたく、記念公演に「にほん大通り」が上演され、それは「菊の会」がみごとに大輪の花を咲かせた思いがしました。

「にほん大通り」は幕末から明治にかけての横浜開港にまつわるエピソードを中心に、開港の犠牲となった庶民や、開港に協力の人々など、さまざまな人物史の中に、日本の女としての誇りと操（みさ



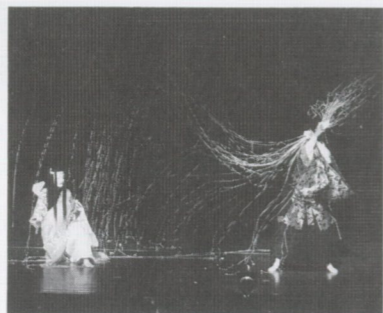
## 民音ネパール公演「日本舞踊の祭典」に出演！



翌日の各新聞はトップで記事があつた。記者会見の日に二人の記者から次の様な質問をされた。「我が国の人達は、輪廻を信じている国民ですが、もし貴方がこの次生まれに来たら、また、日本舞踊家になりませんか、または、マイケルジャクソンの様な人になりたいですか」「東京の若者は、原宿などでマイケルジャクソンの様に歌ったり踊ったりしている人が多い様ですが」と。



「原宿で踊ったりしていたのは、近頃の若者で都心の若者はほとんど行きません」と答えると「安心しました」という言葉がかえって来た。ネパールの人々は、純粋な心をもっており、よく働き、日本人が忘れていた様な心を出させてくれた。



御陣乗太鼓

## 第二十二回教室発表会

昨年も江戸川区長中里喜一様をお迎えして教室発表会を盛大に開催する事が出来た事は菊の会一同にとって大きな喜びとなった。また、年々各教室が大きな出し物や難しい曲に挑戦する人が増えて盛り沢山で見たえのある公演となってきた。



飾山麗子・秋田音頭



### 創価大学から畑代表に

#### 「創価大学名誉校友証」

去る十二月七日、創価大学から栄誉ある「創価大学名誉校友証」が畑代表に授与された。岡安理事長より賞状並びに記念品が手渡され、その際、創立者の池田大作先生より激励のメッセージも頂き、畑代表も謹んで拝受された。



## 初代尾上菊之丞三十三回忌記念公演「冬夏会」に畑代表出演！

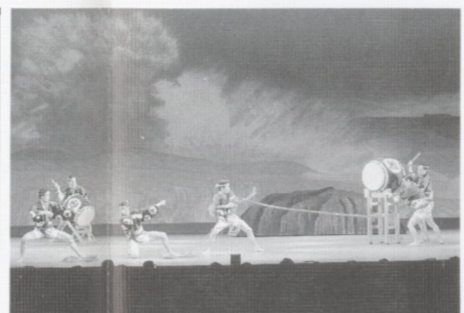
昨年七月十七日、十八日、国立劇場において尾上家元主催による「冬夏会」が盛会に行われた。先代家元の三十三回忌の記念公演として先代ゆかりのお弟子方や現家元の門下の方々が大勢出演、現家元は「二人椀久」と「深川八景」に出演、尾上流の品格、そして、芸の幅と深さを感じさせる舞台であった。また、各演目とも、尾上流の良さを久方ぶりに観られたい公演となった。畑代表は、家元御子息の尾上青楓氏とともに「狸々」を舞った。

舞踊劇「にほん大通り」第二景離村

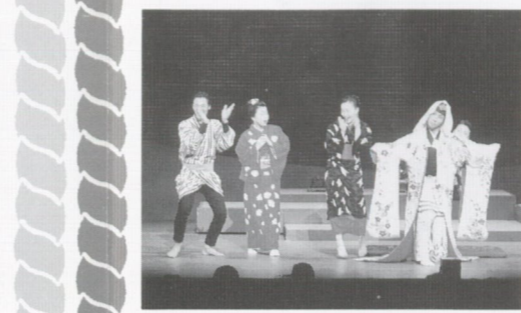


## 各地で爽やかな感動と呼んだ民音公演「燃えよ日本列島」

民音主催で行われた三隅治雄作、栗林克年演出、畑道代構成・振付による「燃えよ日本列島」は、昨年三月二十八日、六月四日まで、九州、関西方面十三会場で大成功のうちに幕を閉じた。第一部は、日本の風土が生んだ、豊富な芸能が息づき、海、山、座敷唄の曲で開幕。若さ溢れるスピーディーな転換、頓智で名高い九州の彦市と東北のもんじやの知恵比べならぬ、おどり比べ。



「燃えよ日本列島」鯨太鼓



「燃えよ日本列島」おてももの嫁入り



舞踊劇「にほん大通り」第十四景船出のオーケストラ